

国家基本政策委員会

委員一覧 (20名)

委員長	北澤	俊美 (民主)	河合	常則 (自民)	輿石	東 (民主)
理事	岩城	光英 (自民)	国井	正幸 (自民)	西岡	武夫 (民主)
理事	鈴木	政二 (自民)	桜井	新 (自民)	羽田	雄一郎 (民主)
理事	円	より子 (民主)	陣内	孝雄 (自民)	魚住	裕一郎 (公明)
理事	築瀬	進 (民主)	真鍋	賢二 (自民)	白浜	一良 (公明)
	有村	治子 (自民)	山本	一太 (自民)	井上	哲士 (共産)
	岡田	直樹 (自民)	江田	五月 (民主)		(16. 10. 14 現在)

(1) 審議概観

第161回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を3回開き討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会合同審査会は、3回開かれ、岡田克也君が発言者となって、小泉内閣総理大臣との間で討議が行われた。

10月27日の合同審査会（第1回）では、丹羽雄哉衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、10月27日判明のイラクにおける邦人人質事件についての総理の見解、政権選択の時代における党首討論の重要性に対する総理の認識、新潟県中越地震被災者に対する総理のメッセージ、支援金の住宅再建使用を可能とする被災者生活再建支援法の改正、旧橋本派1億円献金問題に対する自民党総裁としての総理の見解、政治資金収支報告書における一定金額以上の記載漏れに対する罰則の設置、政治資金規正法改正法案における迂回献金の禁止条項及び罰則の設置等について討議が行われた。

11月10日の合同審査会（第2回）では、北澤俊美参議院国家基本政策委員長が会長を務め、イラク邦人人質殺害事件発覚直後の総理の発言、国民年金を含む一元化問題に対する総理の真意、年金問題の集中審議の実施、米軍等のファルージャ攻撃に対する総理の発言、イラク特措法における非戦闘地域の定義とサマーワについての総理の認識、自衛隊サマーワ派遣の延長に対する冷静な判断の必要性等について討議が行われた。

11月17日の合同審査会（第3回）では、丹羽雄哉衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、第3回日朝実務者協議における北朝鮮の報告に対する総理の見解、北朝鮮から誠意ある対応が見られない状況での日朝国交正常化交渉に対する総理の見解、地方分権改革本来の理念に基づく改革案の提示、イラク特措法においてサマーワを非戦闘地域とする総理の根拠、野党3党提出のイラク特措法廃止法案について委員会審査と本会議での採決、政治資金規正法による迂回献金禁止に反対する理由、政治とカネの問題について予算委員会等への総理出席等について討議が行われた。

(2) 委員会経過

○平成16年10月14日（木）（第1回）

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
 - 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。
 - 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。
-

○平成16年10月27日（水）（合同審査会第1回）

- 国家の基本政策に関する件について岡田克也君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成16年11月10日（水）（合同審査会第2回）

- 国家の基本政策に関する件について岡田克也君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。

○平成16年11月17日（水）（合同審査会第3回）

- 国家の基本政策に関する件について岡田克也君が小泉内閣総理大臣と討議を行った。